

◇崇城大・彫刻展

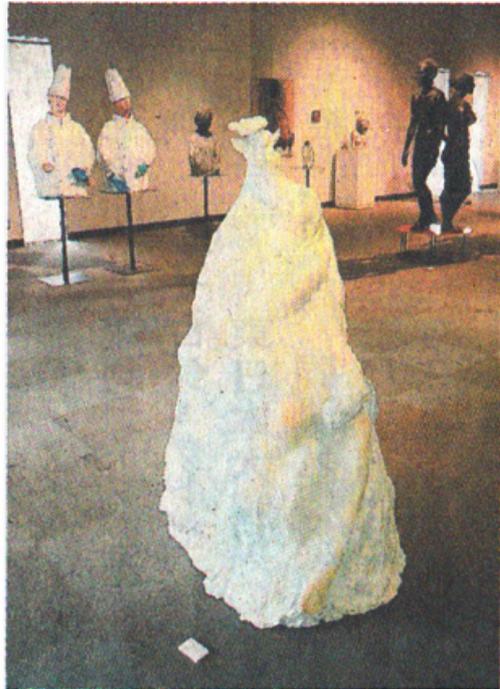
26日、熊本市中央区の同大ギャラリーで始まった。10月1日まで。

芸術学部美術学科彫刻コースの在校生、卒業生、教員の計25人が人物の全身像や胸像、頭像など55点を並べる。

大学院を今春修了した宮原萌さんは、胸像を展示。自分自身を表現した作品の人物はうつ

むき、目の焦点が合っ

ていない。将来を模索する作者の内面を感じる。大学院2年の安森大樹さんは、粉々になった卵の殻の実物を等間隔に並べた。殻は周りから砕かれたのか、内側から破られたのか、分らない。一つの事実に多様な見方ができることを示している。



崇城大の在校生や卒業生
による彫刻が並ぶ会場
＝熊本市中央区